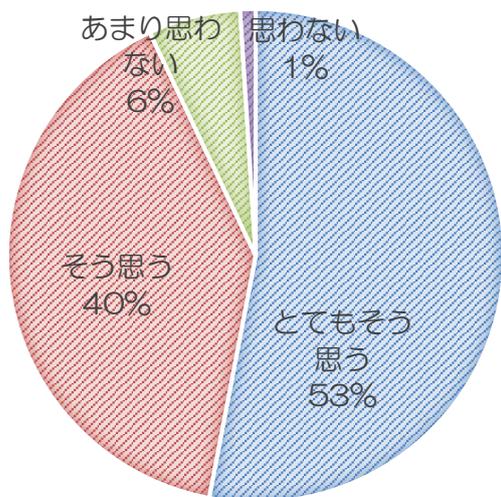


令和3年度GIGAスクール構想の取組についての評価報告

横浜市立駒林小学校では、令和3年5月に児童一人につき一台のタブレット端末を配布しました。コロナ禍における新しい学びの形に、子どもたちは柔軟に対応して取り組んでいます。夏休み明けの分散登校期間には、学年の発達段階に応じて、オンラインによる学習にも挑戦しました。各家庭でのご協力、本当にありがとうございました。さて、「GIGAスクール構想の取組」について、学校評価を行いましたので、その結果を書面にてご報告させていただきます。

お子様は一生懸命活動していましたか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

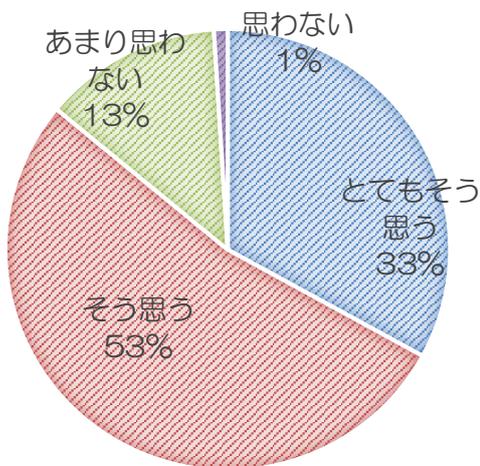


<一生懸命活動していたと感じる場面>

- 頑張ってオンライン参加していた。
- 分散登校期間中に、よく活用していた。
- 自宅でアプリや使い方など、よく教えようとしてくれた。
- 決められた時間を意識して、リモート授業の準備をしていた。
- ローマ字の入力などを自分から進んで挑戦していた。
- 積極的に端末を操作していた。
- オンライン授業を楽しそうに受けていた。
- 操作の仕方が分からないときにも、あきらめずに取り組んでいた。
- 動画を見ながら一生懸命リコーダーを練習していた。

お子様はGIGAスクール構想の取組を通して自分に自信をもち、成長することができましたか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない



<お子様の変化について>

- タブレットになって課題をきちんと仕上げる意識が高まったように思う。
- 親よりも仕様を理解している。
- オンライン授業でしっかり発言して参加していた。
- 自発的にツールを活用していた。
- 登校できないときも、クラスメートとのつながりを感じていた。
- オンライン授業では、緊張感の継続が難しいように感じた。
- 発達段階により、本人だけでは理解が難しかった。

<GIGAスクール構想の取組について>

分散登校期間中の使用について、お子様が積極的にタブレットを使って学習することができたという意見が多数ありました。一方で、使用する時間が増えることにより、タブレット依存などの健康面で心配というご意見もありました。オンライン学習等の方法や内容については、より効果的な実施に向けて、職員一同挑戦してまいります。